

# FANCT



旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”

vol.  
119

平成26年4月発行

## Contents

- 校長からのメッセージ
- 主事団からのメッセージ
- 各相談室からのお知らせ
- 新学級担任からのメッセージ
- 新任教員からの挨拶
- 平成26年度行事予定(5月～7月)



# 校長からのメッセージ



校長 清水 啓一郎

この4月に着任して約1ヶ月が過ぎました。まだ、旭川高専の抱える問題を全て把握できた訳ではありませんが、今後の課題が少し見えてきたところです。まず私の自己紹介をいたしますと、前任校は九州の大分高専で8年間勤務しました。大分高専の前は、松下電器産業株式会社（現在のパナソニック）の研究所で、約25年間、半導体の研究をやっていました。従いまして、学校経営にも企業経験を十分に活かしていこうと考えております。高専は、実践的かつ専門的な知識及び技術を有する創造的人材の育成を目的として創設され、教員陣の熱心な教育・指導によって産業界で活躍する多くの人材を育成してきました。国の科学技術基本計画においても、人づくり、ものづくり、技術の向上が重要課題として掲げられており、我が国の持続的発展を図る上で、高専創設の理念に基づく教育の重要性は一層高まっています。しかしながら、少子高齢化や国家財政の悪化によって、高専を取り巻く環境は益々厳しくなっています。高専機構本部においても今後の高専のあり方について議論を続けておりますが、本校では北海道、旭川の特徴を活かした対応を実施していきます。

## 1. 入学者の確保

高いレベルの人材育成では、より能力の高い入学者の確保が重要です。少子化により大学全入時代を迎え、高等教育機関の間での学生獲得競争は益々激化してきています。本校入学者の多くが上川地区出身で、毎年300校近い数の中学校を訪問していますが、高専の良さは一部の関係者にはよく理解されていますが、まだまだ一般の中中学生や保護者の方々には必ずしもよく伝わっていませんので、広報のあり方を見直します。地元金融機関と実施している小中学生向けの「ジョイントサマースクール」や地域コンソーシアムとの連携も強化していきます。本校では、上川地区以外の地域からの入学者も少しずつですが、増えてきています。平成27年度入試からは、釧路高専との複数校受験を実施します。

この制度では、旭川高専と釧路高専の両方を受験することができますので、受験生にとっては、選択肢が増えることになります。また、高専機構全体で男女共同参画を強力に推し進めております。これからの社会は女性の社会進出無しでは成り立ちません。優秀な理系女子（いわゆるリケジョ）を多く迎え入れて、社会へ送り出していきます。

## 2. 教育への取り組み

平成11年度に設置した専攻科を含めた本学の教育水準が国際水準にあることを示す、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を平成17年度に取得しました。本校では、教育目標の「自主的に思考し、学習し、行動する」と「豊かな創造力を養う」に本校の開校以来の精神的バックボーンである「明朗誠実」を合わせて、平成24年度に校訓「明朗誠実 自主創造」を制定し、学生教育の拠り所としています。全ての学生達が強い学習意欲を持ち、苦手な科目にも粘り強く取り組む力を身につけなければなりません。教育科目を理解し、知識・知恵として身に付けることは勿論大切ですが、多くの科目に取り組んで勉強した経験は必ず将来、いろいろな場で生じる問題を解決する力、困難を乗り越える力になります。また、奥深いものほど、打ち込む程に取り組まなければ本当の面白みを感じることはできません。

## 3. 地域連携

地域連携も重要課題であり、地域共同テクノセンターが中心となって推進しています。地元の小中学生を対象とした地域開放特別事業の実施や2008年5月に設立されたAWBC（旭川ウェルビーイング・コンソーシアム）では、旭川市内の高等教育機関と連携して、学生及び地域住民の人材育成と地域活性化につながる共同研究において、自治体、地域、地場産業とも連携した取組みを進めています。また、道内4高専の総合力を発揮するため、産学連携「北海道地区高専テクノ・イノベーションフォーラム」も開催しています。しかし、旭川地区の事業所数はこの10年間で約30%減少しており、地場産業の活性化は急務であり、地域の技術力向上に対する本校の貢献に大きな期待が寄せられています。まさに、高専と地域がこれまでよりも緊密で実効ある協力を推し進め、地域活性化を実現していく機運が高まっています。

## 4. グローバル化

グローバル化、ボーダレス化がますます顕著になってきました。政治面で見ると、約45年間続いた米ソ2極時代、その後のアメリカ1極支配を経て、現在は世界無極化時代になっています。経済面では、広大な国土と人口を持つBRICS5カ国やイラン、インドネシア、エジプト、韓国等11カ国を示すNEXT11といった振興国の発展が目覚ましく、経済のグローバル化が一層加速されています。また、貿易面でも経済連携協定（EPA）、自由貿易協定（FTA）、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）等、貿易の仕組みそのものが大きく変わろうとしています。社会面では、特に地球温暖化問題。ここ2～3年は、我が国での夏の異常高温や世界各地での異常気象とそれに伴う甚大な被害が多く発生しています。このような世界レベルでの大きな変化の中で、国際交流を本校の教育に結びつけていくことは非常に重要です。本校では、オールイングリッシュ授業や英語を道具として用いる授業などを取り入れると共に、ニュージーランド・イースタン工科大学への学生派遣や韓国・水原ハイテク高等学校との学生の相互交流を行い、国際感覚、異文化理解、コミュニケーション力向上等を目指しています。今後は、海外インターンシップを積極的に進め、グローバルな感性の向上に繋げていきます。

## 5. 教育体制の整備

教育体制の整備を進めていますが、昨年、国の補正予算で多くの新規設備や装置が導入できました。これらの設備は、学生の教育はもとより、地元企業との共同研究等に活用していきます。学校としての教育力、総合力を高めていくために、これからも教育環境をハード、ソフトの両面から整備してまいりますので、学生諸君には正課の勉学、課外活動を通して、ものごとくに粘り強く、打ち込む力を身に付けてくれることを切望します。

清水啓一郎

# 主事団からのメッセージ

## 平成26年度教務方針

平成26年4月7日、本校は機械システム工学科40名、電気情報工学科37名、システム制御情報工学科42名、物質化学工学科46名、合計165名の新1年生を迎えました。さらに、3年に留學生が1名、専攻科1年に18名が入学しました。また、新たに教員が一般人文科と一般理数科に各1名加わり、校長以下62名の教員が学生の教育・指導を担当します。

今年度は学力向上対策を強化します。1・2年生に対しては、月曜日と木曜日の授業終了後に補習時間を設定し、数学などが苦手な学生を対象に補習授業を実施します。なお、英語はe-Learningを使用して英語の教員が補習を実施します。また、毎週1年生を対象に、放課後2・3名のグループ毎に教員室へ赴き、勉強の仕方や授業で解らないところを教えてください。これは全教員が担当します。さらに、各教員がオフィスアワーを設けています。この時間は先生方が各教員室に待機しています。この時間を利用して学生の学力向上を目指す方針です。

本年度の教務方針は、「学生が具体的な目的を持って勉強すること」です。そして目的を達成するためには、

- (1) 授業を休まず、遅れず出席し、授業中は寝ない。
- (2) 計画を立てて予習・復習を行う。

- (3) 課題は期限までに提出する。
- (4) 中間試験・期末試験の2週間前から試験対策を行う。

としています。  
保護者の皆様のご協力とご理解を切にお願いいたします。

Hashimoto

教務主事 (校長補佐)

橋本 直樹

(システム制御情報工学科)



## ネットトラブルを防止するために

今年の2月に発表されたインターネットに関する内閣府の調査によると、スマートフォンを1日2時間以上使う小中高生の割合は51.1%にも達しています。インターネットは生活に欠かすことのできないコミュニケーション手段になっていますが、その反面、様々なネットいじめやネット犯罪に巻き込まれるケースが増えています。被害者だけではなく、加害者になるケースもあります。学生の皆さんには、インターネットの特性を理解し、ルールとマナーを守って利用することを切に願っています。

- ネット上に他人の誹謗中傷を書き込まないでください。
- 軽い気持ちで書き込んだ言葉でも、相手をひどく傷つけてしまうことがあります。
- ネット上の書き込みは、調べれば書き込んだ人を特定することができます。
- ネット上で発信した情報はすぐに広がり、様々な人に見られる可能性があります。
- 一度公開された情報は完全に消すことはできません。
- 名前、住所、学校名、電話番号などの個人情報を掲載しないでください。
- 著作権を侵害しないでください。

ネットトラブルを防止するため、保護者の皆様におかれましても、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

立田 節雄



学生主事 (校長補佐)

立田 節雄

(機械システム工学科)

## 面倒だから、しよう!

この4月より寮務主事を務めることになりました。よろしくお願いたします。寮生指導の基本方針はこれまで同様、「基本的な生活習慣を身につけること」と「集団生活のルールを守ること」です。この2つの事柄は、学生生活・寮生活を実りあるものとし寮生一人一人がそれぞれの夢を掴み取っていく上で、必要不可欠な要素だと考えています。規則遵守の指導はもとより、昨年度から実施している「学習会」等の取り組みを通じて、その実現を図っていきたく思います。

加えて今年度、機会ある毎に寮生に伝えていきたいスローガンがあります。それは標題にある「面倒だから、しよう!」です。ノートルダム清心学園理事長 渡辺 和子氏の言葉で、面倒な何かをしない自由/する自由があるとき、面倒だからこそしようという精神、つまり、より良く生きるためのヒントがそこに込められていると思います。寮での生活はまさにそういった選択の連続かもしれません。己の中でより良い選択ができる人間になってほしい...と強く願いながら、1年間寮生諸君と向き合っていきたいと思っています。

よりよく生きるために...

「面倒だから、しよう!」

古崎 睦



寮務主事 (校長補佐)

古崎 睦

(物質化学工学科)

## 専攻科生への『学士(工学)』の学位授与制度改革が進行中です

専攻科長3年目の富樫です。この2年間は周りの様子を詳細にみる余裕もなく、目の前に出現する任務を処理するために全力疾走していました。たぶん気づかないところで、学生そして保護者の皆さま、同僚の方々に支えていただいたものと察します。この場をお借りして感謝申し上げます。今年度の専攻科の最大任務は、専攻科修了見込み者(ただし、H26年度以降の専攻科入学生限定予定)に対する「学士(工学)」の学位授与の新制度への対応です。現行の制度では、20ページ弱の研究論文を作成して大学評価・学位授与機構に提出し、その後筆記試験を受験するシステムです。数%が試験に落ち、半年後の再挑戦となることが問題視されていました。新制度では、各高専が大学評価・学位授与機構の認定をいただくことで、筆記試験を飛ばして、学生の研究成果(取り組み姿勢含む)の良否のみの審査で学位が授与されます。旭川高専としてこの認定資格を取得すべく、申請準備を鋭意進めているところです。

専攻科の新入生諸君!気を緩めることなく、指導教員の下で研究に励み、立派な論文を仕上げてください。中身が伴わない研究では、専攻科修了は可能でも学士(工学)の学位の授与申請はできません。



専攻科長 (校長補佐)

富樫 巖

(物質化学工学科)



# 各相談室からのお知らせ

## 学生相談室

本年度から学生相談室長を担当することになりました。どうぞよろしく申し上げます。本年度は7名体制(教員相談員3名、技術職員1名、専門カウンセラー2名、看護師1名)で学生の皆さんのさまざまな悩みに対応していきたいと思っております。

昨年度は247件の相談がありました。そのうち学生からの相談が約168件で一昨年より減少しましたが、学生保護者や教職員からの相談件数が増加の傾向にあります。学生相談室では、学校生活全般については教員相談員が、専門的な観点からはカウンセラーが、心と身体のケアについては看護師がそれぞれサポートできる体制をとっています。プライバシーを守ることを優先していますので、気軽にご相談ください。



学生相談室長  
**近藤 真一**  
(一般理数科)

曜日	時間	相談室員	連絡先
月	15:00	相談室員(システム制御情報工学科) 堀川 紀孝	0166-55-8025 (教員室) horikawa@asahikawa-nct.ac.jp
	17:00		
火	12:30	カウンセラー(臨床心理士) 石黒 三知子	0166-55-8146 (学生相談室) ishiguro@asahikawa-nct.ac.jp
	16:30		
水	15:00	相談室長(一般理数科) 近藤 真一	0166-55-8064 (教員室) kondo@asahikawa-nct.ac.jp
	17:00		
木	13:30	カウンセラー(臨床心理士) 藤井 厚子	0166-55-8146 (学生相談室) 0166-22-8189 (六条神経科) fujii@asahikawa-nct.ac.jp
	17:30		
金 <sup>*</sup>	15:00	相談室員(物質化学工学科) 小林 渡	0166-55-8039 (教員室) wataru@asahikawa-nct.ac.jp
	17:00	相談室員(技術創造部) 佐藤 陽亮	0166-55-8128 (技術創造部) y_satoh@asahikawa-nct.ac.jp
月 <sup>*</sup>	9:00	補助相談員(看護師) 及川 久美子	0166-55-8145 (医務室) oikawa@asahikawa-nct.ac.jp
	17:00		



※全曜日は隔週交代となります。  
※看護師は、隣の医務室内におります。  
※開室時間等については、休日・長期休暇・試験期間を除きます。

## ハラスメント相談室

クラス内、同級生間、先輩後輩、学生と教職員、教職員間、多様なコミュニケーションをとっていく中で、悪意はなくても相手を傷つける言動をしてしまうことがあります。お互いに信頼関係がある中では、特別問題は無いのかもしれませんが、もしかしたら、その信頼関係は一方通行かもしれません。そんな時、心無い言動を受けた人の心は傷ついてしまいます。そのような言動を繰り返し受け我慢を続けていると、本人も知らないうちに心のバランスが崩れていきます。その人に会うと恐怖心を感じる、勉強が手に着かない、授業を受けることができない、学校に行きたくても行けない。深刻にならないうちに、できるだけ早く相談してください。ハラスメント相談室は、当事者や関係する者のプライバシーや名誉その他の人権を尊重し、知り得た秘密を厳守いたします。問題の解決に当たっては、問題に応じて全学的な体制を含めて対処いたします。



ハラスメント相談室長  
**佐竹 利文**  
(システム制御情報工学科)

相談室員	連絡先
システム制御情報工学科 佐竹 利文	0166-55-8030 (教員室) satake@asahikawa-nct.ac.jp
物質化学工学科 梅田 哲	0166-55-8049 (教員室) umeda@asahikawa-nct.ac.jp
一般人文科 木本 理可	0166-55-8054 (教員室) kimoto@asahikawa-nct.ac.jp
技術創造部 佐藤 陽亮	0166-55-8128 (技術創造部) y_satoh@asahikawa-nct.ac.jp
学生課 板倉 あかね	0166-55-8124 (学生課) itakura@asahikawa-nct.ac.jp
相談室員全員	harassment@asahikawa-nct.ac.jp

# 新学級担任からのメッセージ

1年



機械システム工学科担任  
岡島 吉俊

今、新生生の皆さんは中学校と高専の違いに目を丸くして驚き、不安を感じていることでしょう。そんな皆さんに伝えたいメッセージは、「自分の成長を信じて、1日1日の生活にしっかりと取り組みましょう。」です。突き詰めると、この一言になりました。  
通学、授業、日直や掃除などクラスでの活動、クラブ活動、家庭や寮での学習、友人との会話、もちろん食事や夜の睡眠にも。それらにしっかりと取り組むことの積み重ねが皆さんの成長につながっていきます。  
皆さんが人間として大きく成長することを願っています。



システム制御情報工学科担任  
水野 優子

みんな毎日元気に学校に来て、しっかり勉強するクラスになってください。そして試験や学校行事では、それぞれの得意分野を発揮して、足りないところは補い合い、全員で良い結果を出せるクラスを作ってほしいと思います。

「はじめのい〜っぱ」

1年電気情報工学科の皆さん。まずは、ご入学おめでとうございます。入学式の日、私がHR教室に入った途端、皆さんの緊張と驚きの表情が印象的でした。まあ開口一番「残念ながら皆さんの担任になります。」と言われたらびっくりしますよね。兎にも角にも、2年後やっぱり残念だった...と言われないように頑張りますのでよろしくをお願いします。

電気情報工学科担任  
小西 卓哉



極めてあたりまえの歩調でまっすぐに歩いて行こう。この道は、どこへつづいているのか。それは、伸びて行く植物の蔓(つる)に聞いたほうがよい。蔓は答えるだろう。「私はなんにも知りません。しかし、伸びて行く方向に陽が当たるようです」  
—太宰治『バンドラの匣』

物質化学工学科担任  
石本 裕之



3年



機械システム工学科担任  
後藤 孝行

クラスの人数が多く、元気がある個性豊かな仲間です。専門科目が多くなる学年に入りますので日々の学習が大切になります。自分の進路についてしっかりと考えながら、有意義な学生生活を送れるよう一緒に取り組みましょう。

第3学年は専門科目も増え、自分の将来のことを意識しながら、卒業後の進路を考えていく大切な時期です。しかしながら、中だるみになりがちなので、これからの3年間の目標を立てて行動していきましょう。皆さんが充実した学生生活を送って行けるように先生も応援していきます。

電気情報工学科担任  
吉本 健一



システム制御情報工学科担任  
大柏 哲治

新年度を皆さんと迎えられたことに感謝しています。高専は5年制ですから卒業までまだ3年あることは確かですが、この3年間は新たな進路への準備のための期間です。3年と4年の2年間は新たな進路のために努力する期間で、5年生はその結果を見る時です。このことをしっかりと記憶して今年の計画を立てて下さい。

これからの3年間は、巣立ちの準備期間です。まずは、1年後になっていたい自分をしっかり思い描き、そこに一歩ずつ近づいて下さい。皆さんがきちんと飛び立てるよう担任として出来る限りサポートしていきます。

物質化学工学科担任  
小寺 史浩



## 新任教員からの挨拶



一般人文科 准教授  
沢谷 佑輔

3月まで小樽にある公立学校で教員をしていました。私は旭川に住むのも初めてですが、高専に係らせていただくのも初めてです。私自身も1年生になったつもりで学生の皆さんと共に学びながら教育や研究に取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



一般理数科 准教授  
吉田 雅紀

3月までは北海道大学工学部で有機合成化学の研究と教育をしており、4月に着任しました。私自身も高専(大阪)の出身ですので、教員として高専に戻ってこられて大変嬉しく思っております。研究と教育を通じて学生諸氏が成長するための一助となれるよう尽力しますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 平成26年度 行事予定 (5月～7月)

5月1日(木)	授業参観日(本科)
2日(金)	休業日(開校記念日振替)
7日(水)	交通安全講演会(本科4・5年)
12日(月)～15日(木)	平成27年度専攻科入学者選抜(推薦選抜)出願期間
14日(水)	英語能力判定テスト(本科1～3年)、TOEIC IPテスト(4・5年)、インターネット防犯防止講演会
15日(木)～16日(金)	校内体育大会
24日(土)	平成27年度専攻科入学者選抜(推薦選抜)試験日
6月2日(月)～5日(木)	平成27年度専攻科入学者選抜(学力選抜)出願期間
9日(月)～13日(金)	前期中間試験(本科)
14日(土)	平成27年度専攻科入学者選抜(学力選抜)試験日
18日(水)	思春期講演会(本科2年)
25日(水)	進路に関する講演会(本科4年・専攻科1年)
26日(木)～27日(金)	宿泊研修(本科2年)
29日(日)	北海道地区高専体育大会(陸上)
7月2日(水)	第2回TOEIC IPテスト
11日(金)～18日(金)	水原ハイテク高等学校交流事業(受入)
18日(金)	休業日
19日(土)～21日(月)	北海道地区高専体育大会
25日(金)～8月10日(日)	ニュージーランド・イースタン工科大学語学研修
25日(金)～8月29日(金)	夏期休業(本科)
25日(金)～9月12日(金)	夏期休業(専攻科)
26日(土)～27日(日)	体験入学(中学生対象)

### 編集後記

平成26年度第1回目の「学校だより」119号をお届けします。4月7日(月)に入学式が行われ、希望と不安で胸一杯の初々しい若者たちが新しい第一歩を踏み出しました。5年間精一杯、夢の実現に向かって、自分の能力を高めていって欲しいと思います。昨年度、「学校だより」のデザインを大幅に変え、今年がその2年目になります。今年度も、豊富な話題や学生たちの今の様子を、見やすい誌面を心がけつつお伝えしていきたいと思っています。

広報委員会委員長 平野 友彦



# FANCT vol.119

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて「Fun」(楽しい、愉快な)の音を付けました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しい学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

## 旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8103(総務課総務係)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>